

科目名	病弱者の心理・生理・病理			担当教員	永井 祐也	
単位	2単位	講義区分	講義		ナンバリング	ED3SSR105
期待される学修成果	教科教育 子ども理解					
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク					
実務経験						
実務経験を生かした授業内容						
到達目標及びテーマ	病気のある幼児児童生徒の心理を理解し、それらを踏まえた病気のある幼児児童生徒への教育的支援の方法を学ぶ。 病気の有無を問わず、子どもの心身の健康に教育が果たす役割について考えを深めることも目指す。 病弱教育の対象となる疾患等の生理・病理を理解し、それらを踏まえた病気のある幼児児童生徒への教育的配慮の方法について学ぶ。					
授業の概要	・病気のある幼児児童生徒の心理学的特徴を紹介し、それらに応じた教育的支援の具体例を提示する。 ・病弱教育の対象となる疾患等に関する生理・病理とそれらに応じた教育的配慮を紹介するとともに自学習を促す。 特に、精神疾患等の生理・病理を詳細に取り扱い、精神疾患等のある児童生徒への教育的支援の在り方を論じる。 【デジタル技術利用：該当なし】					

授業計画	
第1回	病弱教育における医療等との連携・協働の意義と実際
第2回	ストレス対処過程とコーピング （調べ学習課題：悪性新生物）
第3回	ストレス対処過程とソーシャルサポート （調べ学習課題：腎臓疾患）
第4回	感情の発達 （調べ学習課題：気管支喘息）
第5回	感情の役割と取り扱い （調べ学習課題：心臓疾患）
第6回	カウンセリングマインド①傾聴 （調べ学習課題：糖尿病）
第7回	カウンセリングマインド②質問法 （調べ学習課題：血友病）
第8回	カウンセリングマインド③非言語コミュニケーション （調べ学習課題：アレルギー疾患）
第9回	自己概念の発達①自己効力感 （調べ学習課題：てんかん）
第10回	自己概念の発達②自尊感情 （調べ学習課題：筋ジストロフィー）
第11回	精神疾患等の病理と医学的治療 （調べ学習課題：整形外科的疾患）
第12回	精神疾患等の病理と心理療法 （調べ学習課題：重症心身障害）
第13回	精神疾患のある児童生徒への教育的支援 （調べ学習課題：医療的ケア）
第14回	発達障害等の二次障害（精神疾患を含む）と病弱教育
第15回	発達障害等の二次障害（精神疾患を含む）を予防する教育的支援

事前学修	2時間	・参考資料を使って事前学習すること。 ・病弱教育の対象となる疾患等のうち、指定した疾患について調べ学習を行うこと。
------	-----	---

事後学修	2時間	・授業で学習したことを整理し、復習すること。 ・調べ学習した疾患について自ら調べた内容と解説された内容を整理し、復習すること。
フィードバックの方法	授業内で課した小レポートを次回の授業で返却する。小レポートに書かれた質問や意見は次回の授業の冒頭で取り上げ、全体に共有する。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	0%	実施しない
レポート	45%	期末課題（45%）
上記以外の試験・平常点評価	55%	小レポート・調べ学習課題(45%)、授業への積極的な参加(10%)
補足事項	原則、「病弱者の教育」（後期）を履修済みであること。	

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
毎回の講義で資料を配布する	なし	なし	なし	なし
参考資料	標準「病弱児の教育」テキスト改訂版（編著：一般社団法人日本育療学会、出版：ジアース教育新社）ISBN：978-4-86371-618-6 障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～（文部科学省）			